

みやぎ型に係る広報活動について

宮城県企業局水道経営課

(情報共有) みやぎ型に係る広報活動について

1 これまでの広報活動

県ではこれまで、みやぎ型管理運営方式（以下、「みやぎ型」）の仕組みや目的について、県民の皆様の正しい理解を深めることを目的として、『みやぎ型ポータルサイト』の開設をはじめとする各種広報活動を行ってきたところ。

しかし、**みやぎ型は、従来の業務委託に比べ仕組みは複雑で専門性も高く、県民に十分に伝わっていない状況にある。**そのため、引き続き広報手法を工夫し、より丁寧で分かりやすい情報発信に努めていく。

【県の主な広報活動】

- みやぎ型HPの開設（事業の検討経緯や契約図書等の情報を可能な限り公開）
- 県政だより等
- 水道週間に伴うパネル展示



県政だより

【運営権者の主な広報活動】

- 運営権者HPにて、水質データ、調達契約情報、財務情報、業務報告書等を公開
- 広報誌（水結便）の刊行
- 水道週間・下水道の日に伴うパネル展示
- 各種イベント（みずむすびフェス、自由研究バスツアー等）



広報誌（水結便）



○みやぎ型の理解醸成における課題

- ✓ 課題① 事業の分かりにくさ
- ✓ 課題② 広報の届きにくさ

(情報共有) みやぎ型に係る広報活動について

2 課題①“事業の分かりにくさ”について

【リニューアル前】

ご意見

- ・資料量が多く透明性は高い（制度内容の検討資料、実施契約書、モニタリング結果等）
- ・資料が分散していて、探しにくい（→**対応1**）
- ・資料が専門的（制度が複雑）で、分かりにくい（→**対応2**）
- ・「契約書が膨大で制度理解が難しい」（知事記者会見内容を要約）
- ・「より分かりやすい広報が必要」（議会指摘）

⇒ 令和7年9月から10月にかけて **『みやぎ型ポータルサイト』をリニューアル**



【リニューアル後】

対応1

○構成を整理し、情報を体系化

→目的の情報にアクセスしやすいよう、構成を工夫

対応2

○リーフレット・事業説明スライド（概要版）・動画資料を追加

→よりシンプルで分かりやすい資料を作成、気軽にアクセス可能な情報を提供



→ 従来どおりの情報公開を維持しつつ、従来に比べ、視認性を高め、必要な情報をより探しやすい構成へと改善



3 課題② “広報の届きにくさ”について【要改善】

○県の広報手法の限界

- ・県の広報：プッシュ型（※発信力に課題）

広報媒体広報誌やＨＰなど選択肢が限られている = **県の広報手法の限界...**

⇒県従来の広報手法に留まらない新たな「届く広報手法」を検討したい

4 課題②を踏まえた今後の取組（案）

○課題解決に向けて、経営審査委員会の委員皆様から様々なアイデアを伺い、今後の具体的な広報活動を検討していきたい

○本委員会終了後、委員の皆様から意見を聴取（令和8年2月～3月を予定）

○意見聴取後、いただいた内容について検討するとともに、実践可能な活動から取り組み、検討内容や取組の進捗状況について次回の委員会（令和8年度第1回経営審査委員会）において共有



4 課題②を踏まえた今後の取組（案）

特に県民の皆さんに、事業の仕組みや安全・安心について広く届けたい

対象者（誰に）

- ・ 県民
- 【大人、子ども（年代別）】
- ・ 民間企業
- ・ 報道機関
- ・ 大学
- ・ 国、地方公共団体

活動（伝え方）※構想含む

- ・ 県公式SNS
- ・ 水道、下水道施設見学ツアー
- ・ 運営権者と連携したイベント
- ・ 教育機関と連携した出前授業
- ・ ...
- ・ ...

伝達内容（何を）

- 事業の仕組み
 - ・ 効果
 - ・ 料金
 - ・ 水道、下水道
- 事業の安全・安心
 - ・ 最終責任（県）
 - ・ 水質
 - ・ 災害時の対応

委員の皆様からアイデアをいただきたい